



ケアマネジャーに対し積極活用を要請 福祉用具選定判断基準を改正



厚生労働省は「福祉用具の選定の判断基準」を2004年から20年ぶりに改正しました。この判断基準はケアマネジャーがケアプランに福祉用具を位置づける際の**標準的な目安**となるものです。

今回の見直しは、制度の改正で①追加された福祉用具の基準②軽度者利用③多職種連携④地域ケア会議等での活用等に対応します。従来の基準では用具機能の説明文のみで選定時の留意点を記載していないものもあり、改定では利用目的や住環境など五つの視点を踏まえた留意点を詳細に示しています。

今回の見直しのポイント



- 新しく給付対象となった福祉用具に関する記載の追加
- 福祉用具を選定する**妥当性の判断に役立つ情報**の充実
- 多職種協働の促進



主な見直しの内容

- 策定当時は販売されていなかった種類の福祉用具製品の基準
- 疾病・疾患による分類の整理、LIFEの項目を踏まえた対応
- 身体機能の評価（とくに転倒防止に関するアセスメントの充実）等による分類の整理
- 判断基準内容の細分化
- リハビリテーション、IADL（手段的日常生活動作）、社会参加の視点 等
- 用具別の取扱いに関する注意事項の明記
- 同一種目の複数個給付も含めた適切な支給量についての考え方の整理 等



ケアマネジャー 福祉用具に関わる専門職 が求められること



- **福祉用具選定とケアプラン**
福祉用具の特性と利用者の心身の状況とが**適応した選定**が重要。ケアマネジャーは利用者の状態像や変化、介護者の介護力、住居環境などを踏まえた適切なマネジメントにより必要な支援内容を多職種協働による検討を通じて決定し支援の手段として、福祉用具活用をケアプランに位置付けること。



- **判断基準活用と多職種協働**
ケアプランに福祉用具を位置づける際は**この判断基準を活用**する。判断基準の「使用が想定しにくい状態像・要介護度」「留意点」などに該当している場合には、サービス担当者会議等で福祉用具に関わる**専門職の意見**を求め妥当性を検討し自立支援に資するケアプランの作成・見直しを行うこと。

- **専門職の助言・サービス提供**
福祉用具専門相談員をはじめ医師、看護師、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、ヘルパーなど福祉用具に関わる専門職はこの判断基準に示された「留意点」「参考情報」を参照しサービス担当者会議等を通じて利用者の状態像や変化、介護力住居環境など十分に踏まえ、福祉用具が適切に選定され安全に使用されるようケアマネジャーに対して**専門的な見地から助言やサービス提供**を行うこと。



■厚生労働省 介護保険最新情報Vol.1296 「介護保険における福祉用具の選定の判断基準について」
<https://www.mhlw.go.jp/content/001283760.pdf>



健康長寿 水の健康リスクと効果



ケア・ライフ・デザイン
きらみさお
代表 吉良操

水は、身体で最も多い物質で55～60%含まれており、水の働きにより私たちの生命活動をサポートしています。
水の働きは物質の溶解(栄養素が吸収されやすい形に水に溶けた状態で分解され代謝)物質の運搬(水分を含む血液やリンパ液を全身の細胞まで運搬)体温調節(体温を一定に保持)などがあります。
また健康リスクとして水分の不足は熱中症、脳梗塞、心筋梗塞などの健康リスク要因となります。身体から水分が1%損失するとのどの渇き、2%の損失でめまいや吐き気、食欲減退に10～12%の損失で筋けいれんや失神、20%の損失で生命の危機になります。

痩せ体質を作る



- 常温の水を飲むと**身体の中から温まり、代謝**がアップ。
- 筋肉にしっかりと血液が送り込まれ効率よく**筋肉量**が増える。
- 筋肉量が増えると**代謝量**も増え**痩せ体質**になる。

血液をサラサラにする



- ドロドロの血液は**脂肪**が大量にあり、スムーズに流れない状態。
- 血液の流れが悪くなると細胞に酸素がいかず、免疫力の低下、脳や内臓の機能の低下を起こす。
脳梗塞や心筋梗塞を起こしやすくなる。
トイレに行く回数が増え**老廃物**が排泄され血液がサラサラになる。

食べすぎない (食事量をコントロールできる)



- **早食いは満腹感**を感じにくいので、食べる量が多くなる。
- 食事をしながら水分を取り入れるので
食べるペースがゆっくりとなり**満腹感**も得られて食べ過ぎを防ぐ。

肌に潤いを保つ



- 肌は表面から水分を補給しても**中まで届かない**。
- 肌の中まで水分を補うためには水を飲むこと。
シミやしわ、くすみは水を補うことで細胞の中の**老廃物**や**毒素**が排出され必要な**栄養素**が補われる。
古い細胞から新しい細胞に変わり、肌の**新陳代謝**が改善。



■ 長寿科学振興財団 健康長寿ネット 「水は1日どれくらい飲めば良いか」
<https://www.tyojyu.or.jp/net/kenkou-tyoju/shokuhin-seibun/water.html>

2ヶ月連続
事例紹介

特定事業所加算 対応



9.18(水)/10.18(金) 15:00～16:30

無料 GREENCARE FORUM Online



きぬせん福祉用具研究会

千葉県船橋市海神四丁目9-18

連絡先 : 047-433-1012 FAX : 047-433-1034

mail : info@kinusen.net URL : <https://kinusen.net>

